

第2学年美術科学習指導案

指導者 ○○ ○○
令和○年10月○○日(○)
美術室

1 題材名：ピクトグラムでKA中をWell Being～生活を楽しく快適にするデザイン

2 本時の主眼： KA中学校の課題や課題を解決するためにあったらよいピクトグラムについて考え合う活動を通して、学校生活を楽しく快適にするためのピクトグラムの表現の構想を練ることができる。

3 本時の指導観

第2学年のデザインの内容においては、生徒の社会的視野の広がりに合わせて、社会一般の不特定の人々を対象として発想や構想を膨らませることが大切である。そのため、本単元では、生徒の地域や社会との関わりを考えながら主題を生み出す活動を行う。

本題材で扱うピクトグラムは、必要な情報や注意を伝えることを目的とした伝達のデザインである。本題材では、「学校で使える」という条件でピクトグラムを考え、色や形の効果を生かして表現する。

本時においては、学校生活を快適に送るうえでのマナーやルール、あった方がよい案内表示などから主題を生み出し、ピクトグラムの表現の構想を練る活動をする。特に、主題を生み出す場面や、ピクトグラムのアイデアを描く場面でICTを活用し、より相手に伝わりやすい表現の構想について考えさせる。

4 授業の中で設定する「表現力育成」のための手立て

手だて①

主題を生み出す場面において、KA中をよりよくするという課題についての考えを広げたり、整理したりするために、思考ツールを活用して交流を行う。(MetaMoji 活用)

手だて②

ピクトグラムのデザインを構想する場面において、ピクトグラムの形を試行錯誤しながら構想させるために図形を動かしながら構成できるコンテンツを活用する。(MetaMoji 活用)

【努力を要する生徒への手立て】

主題を生み出しにくい生徒に対しては、交流学习でのすべてのグループのワークシートを閲覧できるようにし、視点を広げるヒントにするよう助言する。

また、ピクトグラムのデザインの発想ができない生徒に対しては、イメージマップシートを配布し、発想の手掛かりとするよう助言する。

手立てを打つことによって期待される生徒の姿

①学校生活をよりよくするための課題を見つけ、整理することで、主題を生み出すことができる。

②主題をよりよく表現するために、試行錯誤しながらピクトグラムのアイデアを発想することができる。

5 準備

教科書、ワークシート、タブレット端末、電子黒板

6 本時の展開

	学習活動・内容	○ 指導上の留意点 ★ 評価〈観点〉 ◆ 表現力育成の手立て【手立て】	形態	配時
導入	<p>1 前時までの学習を振り返るとともに、本時のめあてを確認する。</p> <p>(1)ピクトグラムの色と形と働きについて振り返る。</p> <p>(2)学校生活をよりよくするピクトグラムを考えるという題材のねらいを確認し、本時のめあてをつかむ。</p>	<p>○ 前時までの既習事項を想起しやすくなるように、電子黒板に拡大提示をする。</p> <p>○ 本時のめあてをつかむことができるように、題材のねらいを確認する。</p>	一斉	7
<p>めあて <u>KA中をよりよくするためのピクトグラムのデザインの構想を考えよう。</u></p>				
展開	<p>2 学校生活の中にある課題を見つけ、整理する。</p> <p>(1)デジタル付箋に4つの視点から学校生活の中にある課題を書きだす。(課題の見つけ方・整理の仕方)</p> <p>①ワークシートの書き方を確認する。(MetaMoji 活用)</p> <p>②デジタル付箋に記入する。</p> <p>(2)書きだした付箋をピクトグラムの働き(指示、案内、注意、禁止)の視点からグループで整理し、交流する。</p>	<p>◆ 現在課題となっていることについての考えを広げたり深めたりできるように、デジタル付箋に書き出す活動を行う。【手立て①】</p>	グループ	13
	<p>3 交流でみつけた課題の中から、自分がピクトグラムで伝えたい内容を考え、アイデアスケッチをする。</p> <p>・伝えたい内容、テーマ(主題)</p> <p>・ピクトグラムの働き</p> <p>・貼る場所</p> <p style="text-align: center;"></p> <p>・アイデアスケッチ</p>	<p>◆ 課題について整理できるように、思考ツール(マトリクス)を提示し、グループで整理する場を設ける。【手立て①】</p> <p>◆ 試行錯誤しながら表したいピクトグラムを構想することができるように、図形を動かしながら形を構成するコンテンツを活用する場を設ける。【手立て②】</p> <p>★ 学校生活の中にある課題を見つけ、整理することで、主題や表し方を発想することができたか。(ワークシート思考・判断・表現)</p> <p>○ 主題を生み出しにくい生徒にはイメージマップシートを配布し、発想のてがかりとするよう助言する。</p>		10
	<p>4 自分のピクトグラムのテーマと構想を発表し、本時を振り返る。</p>	<p>○ 本時を振り返らせるとともに、次時への意欲を高める。</p>		15
終末	<p>4 自分のピクトグラムのテーマと構想を発表し、本時を振り返る。</p>	<p>○ 本時を振り返らせるとともに、次時への意欲を高める。</p>	一斉	5